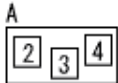
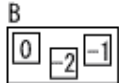
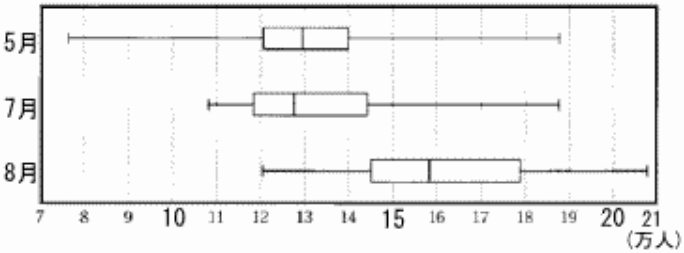




印刷して、紙の上でやってネ!

1	😊 $-5 - (-8) - 1$	4	3つの自然数の和の性質について、いつでも成り立つものを、次のア～エからすべて選び、記号で答えなさい。
	😊 $(\frac{2}{3} - \frac{5}{4}) \div \frac{7}{3}$		ア $1+2+3=6$ のように、連続する3つの自然数の和は、6の倍数になる。
	(3) $(-2x)^2 \div 8x^2y \times (-6xy^2)$		イ $2+4+6=12$ のように、連続する3つの2の倍数の和は、6の倍数になる。
	(4) $(\sqrt{2}+1)^2 + \frac{4}{\sqrt{2}}$		ウ $3+6+9=18$ のように、連続する3つの自然数の和は、6の倍数になる。
2	2次方程式 $(2x-3)(x+4)=x-2$ を解きなさい。解き方も書くこと。	5	下の図は、あるイベントにおける、5月と7月と8月それぞれ31日の日ごとの来場者数のデータを、月別に箱ひげ図に表したものである。これらの箱ひげ図から読み取れることとして最も適切なものを、あとのア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
	<p>下の図のように、Aの箱の中には、整数の2,3,4を1つずつ書いた3枚のカード、Bの箱の中には、整数の-2,-1,0を1つずつ書いた3枚のカードが、それぞれ入っている。A,Bの箱から、それぞれカードを1枚ずつ取り出すとき、取り出した2枚のカードに書かれた整数の和が素数になる確率を求めなさい。</p> <p>ただし、それぞれの箱において、どのカードが取り出されることも同様に確からしいものとする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>A</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>B</p>  </div> </div>		
3			<p>ア 四分位範囲がもっとも大きい月は、範囲はもっとも小さい。</p> <p>イ 来場者数12万人以下の日数がもっとも多いのは、5月である。</p> <p>ウ 8月の来場者数15万人以上の日数は、7月の来場者数15万人以上の日数の2倍以上である。</p> <p>エ 中央値がもっとも小さい月は、平均値も、もっとも小さい。</p>